令和8年度第2回　荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会
議事要旨

(1)　概要

開催日時	令和 8 年 10 月 8 日(木)　午後 2 時から午後 4 時まで
開催場所	荒川区役所　産業経済部会議室
出席者 (敬称略)	(協議会委員) 会　　長　　遠藤　智久 副 会 長　　丸山　慎二郎 委　　員　　鈴木　あづさ 委　　員　　竹前　友勝 委　　員　　野城　菜帆 委　　員　　田中　類 委　　員　　細谷　誠 委　　員　　山田　章博 (区側出席者) 荒川区長　　滝口　学 産業経済部長　三枝　直樹 産業振興課長　山下　英男 経営支援課長　中野　大志 観光振興課長　渡部　雅人 荒川遊園課長　遠藤　伸記 広報・シティプロモーション課長　鈴木　利枝子
欠席者	なし
配付資料	(配付資料) ・資料１　地域経済活性化に関する分科会における取組状況 ・資料２　観光プロモーションに関する分科会における取組状況 (参考資料) ・参考資料１　荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会委員名簿 ・参考資料２　令和８年度協議会の開催状況について ・参考資料３　令和７年度協議会の開催状況について

(2)　区長挨拶

挨拶	開会にあたり、荒川区・滝口区長から挨拶があった。

（要旨）

・協議会２年目となり、各分科会のこれまで１年半の活動に感謝申し上げる。

・地域経済活性化分科会では、（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステム（以下、（仮）企業エコシステム」。）の構築に向けた検討、また、観光プロモーション分科会では、事業提案のうち一部事業の試行実施と、更なる詳細検討を進めていると伺っている。引き続き本日も、よろしくお願いしたい。

(3)　議事

議題	各分科会の取組状況について

議事内容

・遠藤分科会長から、地域経済活性化に関する分科会の取組状況について、また、丸山分科会長及び各分科会委員から、観光プロモーションに関する分科会の取組状況について、説明がなされた。

（地域経済活性化に関する分科会　報告要旨）

・（仮）企業エコシステムの目的、事業内容(案)、運営体制等について

・（仮）企業エコシステムの今後の検討内容等について

（観光プロモーションに関する分科会　報告要旨）

・提案事業１０案のうち、実施及び実施検討中の３案の事業内容について

・区との横断的な連携を図るための事業実施主体について

・分科会の今後の予定議題について

議題	意見交換

議事内容

・各分科会の取組状況について、意見交換が行われた。

○委　員

・民間が実施する大手企業中心の企業エコシステムは、スタートアップ企業は参加しづらい。行政が主導する企業エコシステムの仕組みがあれば、非常にありがたい。

・区外からの観光客の増加は、必ずしも区民は喜ばないのではないか。まずは区民に目を向けて、区内イベントを実施していく方が良いと考える。

○委　員

・モノづくり系企業を区外から誘致する基盤づくりのためには、売り上げの確保が一番大

切であり、「商社」のようなものが必要となるのではないか。
・スタートアップ企業で、若くして活躍されている人たちをロールモデルにして、そこに特化した企業エコシステムを構築するのがよいと考える。

○委　員
・コワーキングスペースのコーディネータについては、異業種、他業種をつなぐ役割となるため、一定の選定基準が必要と考える。
・観光の部分では、例えば、輸送手段としてトゥクトゥクを導入できれば、日暮里駅からあらかわ遊園までの観光の動線が確保でき、区内観光が活性化するのではないか。

○委　員
・事業所は南千住にあり、南千住地域から区内他地域への交通機関でのアクセス手段が少ないと感じる。
・新規の企業誘致には、最寄り駅から徒歩５分以内等の好立地が望まれる現状がある。ふらっとにっぽりは、日暮里駅から徒歩１０分ほどの距離であり、シェアサイクルなどの検討も必要ではないか。

○委　員
・観光については、区民を対象にした機運醸成型イベントと、区外向けのＰＲ型イベントを明確に分けて、行政や民間の役割も、それぞれに適した形で整理すべきではないか。またイベントは、収益性など、継続実施できる方策を考えていくべきである。
・（仮）企業エコシステムについては、ふらっとにっぽりにすべてを集約すると、事業数が多すぎる感じもある。例えば、この場所ではスタートアップ企業の支援に特化し、企業間コミュニティは別拠点を設けるなどの形も良いのではないか。

○委　員
・コワーキングスペースは、気軽に休憩やアイデアの整理ができる、カフェのような居心地のよい環境になることが必要だと考える。
・地域イベントについて、開催情報が事前に配信されれば、近くで開催されているイベントに仕事帰りや週末に気軽に参加でき、地域の活性化にも繋がるだろう。

○委　員
・コワーキングスペースは、昼はカフェ、夜は軽食や飲み物を提供する場にできれば、ここからさらなる交流が生まれ、有益な情報やアイデアが共有されていくのではないか。
・観光の目的は、区外からの来訪者誘致と区内住民の幸福度向上の両面があるだろう。どちらも区内で経済効果を生みだすことが重要と考える。そのことが、区民同士の繋がりや地域での暮らしやすさの向上に繋がる。

○委　員

・事業化して実施するイベントの参加者は、ほとんどが区外からの来訪者であり、荒川区を初めて知って訪れる人も多い。実際、その数を増やしていく必要もあるだろう。
・観光振興を進めるうえで、事業化は重要なポイントであるが、行政が行うかどうかの判断や規模拡大のバランスを取るのが難しいところだと考える。

(4)　区長閉会挨拶

挨拶	閉会にあたり、荒川区・滝口区長から挨拶があった。

（閉会挨拶要旨）
・本日も皆様の思いとさまざまなご意見をいただき、感謝申し上げる。
・今年度の残り半年で、方向性がまとまる部分と引き続き検討が必要な部分があると思うが、こうした検討は今後に繋がっていくと考える。引き続きよろしくお願いしたい。

（以上）